

中国都市部における家族のケアの資格化：上海市の 「家政サービス員」の養成を中心に

翁，文静
九州大学アドミッションセンター：助手教授

<https://doi.org/10.15017/7387311>

出版情報：国際教育文化研究. 17, pp.1-14, 2017-09-30. Comparative and International Education,
Faculty of Human-Environment Studies, Kyushu University

バージョン：

権利関係：



中国都市部における家族のケアの資格化

－上海市の「家政サービス員」の養成を中心に－

翁 文静

1 はじめに

中国では、昔から家族、特に女性に子どもや老親などの世話を任せる伝統がある。例えば、唐が、『四書』、『左伝』、『礼記・大学』の中に、「子之能食，教以右手；能言，男唯女俞。修身・齐家・治国・平天下」という記載があり、つまり、家族（女性）が家事や子育てを行い、家を管理することが国の繁栄にも関連することを指摘している（唐 2005）。また、「養児防老（老後の不安を防ぐため、子どもを養育する）」という言葉に代表されるように、高齢者の介護の担い手は我が子であるべきという社会規範もある。さらに、中国では、老親の介護・扶養が子どもの法的義務（憲法の第 49 条第 3 項）とされている。

しかし、共働きの普及、少子高齢化の進展、人々の生活スタイルや意識の変化などにより、今日では家族による子育てや介護ができない現状にある。家族の代わりに、近年、資格化されつつある「家政サービス員」（中国語：家政服務員）が注目を集めている。

「家政サービス員国家職業標準（2000 年）」によると、「家政サービス員」とは「顧客の要望に従い、各家庭において家事全般を担当し、児童、老人、病人の世話をし、家庭の様々な仕事に携わる人員」と規定されている¹（大橋 2011）。

先行研究の「家政サービス員」についての検討によれば、国家資格を与えられる前に、中国、特に都市部では、家族の代わりに子どもと老親の世話を担う女性がいたこと、そして、現段階では有資格と無資格の「家政サービス員」が同時に存在し、無資格の「家政サービス員」が圧倒的に多いことなどがわかった（翁 2014、赵ら 2010、陈 2011）。では、有資格の「家政サービス員」と無資格の「家政サービス員」との違いは何だろうか。また、「家政サービス員」の中身を見ると、家事専門、母子専門、子育て専門、介護専門など様々な種類がある。それぞれの養成、認定、資格化の進み具合はどのようなものか。さらに、「家政サービス員」の資格化の問題点があるとしたら、どのようなものか。本稿はこれらの問題意識に基づき、下記の 3 点を明らかにすることを目的とする。①資格制度が整備されつつある「家政サービス員」の種類、内容、②特に子育てや介護などのケア²に関わる「家政サービス員」の養成実態、③「家政サービス員」の資格化の問題点である。

本稿で用いる主な資料とデータは、4回のインタビュー及び参与観察調査（2016年12月から翌年1月、2017年3月末と4月末、及び2017年8月末、計23日間）からのものである。主な調査場所及び対象は、①上海Rトレーニングセンターで育児嫂養成トレーニングを受ける女性たち、同じく②Rトレーニングセンターで養老護理員養成トレーニングを受ける生徒たちである³。また、公式サイトや、トレーニングセンターで配布された教科書、パンフレットなども分析や考察の対象にした。

2 「家政サービス員」の種類と内容

2-1 労働・社会保障部による「家政サービス員」

大橋によると、2000年に、労働・社会保障部が家政サービス員の国家職業基準を設け、初級、中級、高級の3段階に応じた「家政サービス員」の資格検定を実施し始めた。また、国家職業基準（2006年改定版）は家政サービス員のレベルを技能に応じて初級、中級、高級の3種類に区分し、検定試験を設けている（表1）。試験は理論知識試験と技能試験によって構成され、前者で6割以上の成績をとった者のみが後者を受験できる（大橋 2011）。

表1 「家政サービス員国家職業基準」

		初級	中級	高級
受験資格	訓練	90時間の初級訓練を経て修了証書を取得した者	初級資格書を取得してから連続して1年以上本職業に従事し、その後120時間の中級訓練を経て修了証書を取得した者	中級資格書を取得してから連続して2年以上本職業に従事し、その後300時間の高級訓練を経て修了証書を取得した者
	経験	連続半年以上の実習経験をもつ者	初級資格書を取得した後、連続して1.5年以上本職業に従事した経験をもつ者	中級資格書を取得した後、連続して4年以上本職業に従事した者
	学歴		労働社会保障行政部門が認定した中級技能訓練を目的とした中等以上の職業学校で本職の卒業証明書をもつ者	大学・高等専門学校の卒業生で、300時間の高級訓練を経て、修了証書を取得した者
検定内容		必須： 家庭儀礼、家事の方法、乳幼児の世話、老人の身の世話、病人の世話、妊婦・産婦の介助	必須： 家庭儀礼、家事の方法、老人介護、妊婦・産婦・新生児の介助	必須： 社交儀礼 家事管理 家庭教育 家庭のレクリエーションと娯楽
			選択 乳幼児の保育 病人の看護	

（出所 大橋 2011）

2-2 上海市の「家政サービス員」の養成

「家政サービス員国家職業基準」及びその検定試験の試験範囲は労働・社会保障部に設定されながらも、中国の各地域では独自の養成、検定試験を実施している。例えば、上海市の労働・社会保障局が「家政サービス員国家職業基準」を参考とし、先進的な「1+X」⁴検定モデルを作成している。1とは労働・社会保障部の設定した基準と試験範囲であるが、Xとは上海に適応した追加基準と試験範囲である。

「1+X」検定モデルの教材は家政サービス員の専門ごとに2種類ある。一つ目は「1+X」職業技術・職業資格培訓教材と呼ばれる教科書であり、編集部門は労働・社会保障部の教材部門と上海市職業訓練指導センターである。教科書以外、各専門の検定指導手引きもあるが、編集部門は人力資源・社会保障部教材部門、中国就職訓練技術指導センター上海支部及び上海市職業技能検定センターである。教科書の内容は、専門ごとに異なるが、検定指導手引きの構成には共通性が見られる。検定指導手引きは主に①理論知識の復習、②操作技術の復習及び、③模擬試験という三つ部分によって構成されている。

一方、上海市における「家政サービス員」の養成・訓練機構を見てみると、教科書の制定と違って、政府の関連部門が直接関わるのではなく、民間企業に委託する場合は殆どである。

次に、上海市における「家政サービス員」の養成・訓練の類型について触れてみる。上海市の「家政サービス員」は大きく3種類に分けることができる。一種類目は「1+X」検定モデルの認定「家政サービス員」である。二つ目は各トレーニングセンターの認定する「家政サービス員」である。三つ目はその他の「家政サービス員」である。以下Hトレーニングセンター及びRトレーニングセンターでの収集資料を参考とし、上海市における「家政サービス員」の分類、内容を見てみる。

(1) 「1+X」検定モデルの認定「家政サービス員」養成

「1+X」検定モデルの認定「家政サービス員」養成は主に①「母嬰護理（母子専門）」、②「育嬰員（育児専門）」の初級、中級、高級、③健康照護（病院介護専門）、④養老護理（介護専門）の初級、中級、⑤初級の養老護理医療照顾（介護・医療専門）、⑥家政專項（家事専門）、⑦初級家政等級技能（家事技能専門）などである（表2）。

表2 「1+X」検定モデルの認定「家政サービス員」養成の分類、内容

名称	申請条件	料金(補助後金額)	コース内容	開講状況
①母嬰護理 (母子専門)	(55歳まで)外地戸籍者	1500(350)	座学9日、 座学復習1 日、実技復 習2日	開講中、 毎日クラス、 随時開講
	(55歳まで)上海戸籍失業者	1500(初試験合格者に 全額返金)		
	55歳以上の外地戸籍者 及び上海戸籍失業者	1500(1000)		
	上海戸籍在職者	1500(1300、初試験合		

			格者に900元返金)		
② 育 嬰 員（育 児 専 門）	初 級	外地戸籍年齢制限なし	1810(1000)	座学9日、 実技・復習 3日	開講中、 毎日クラス、 随時開講
		(55歳まで) 上海戸籍 失業者	1810(初試験合格者に 全額返金)		
		(55歳まで) 上海戸籍 在職者	1810(1700、初試験合 格者に1086元返金)		
	中 級	外地戸籍年齢制限なし (初級資格が必要 ¹⁾)	1870(1300)	座学9日、 実技・復習 2日	開講中、 毎週日曜日
		(55歳まで) 上海戸籍 失業者	1870(初試験合格者に 全額返金)		
		(55歳まで) 上海戸籍 在職者	1870(1750、初試験合 格者に1122元返金)		
	高 級	戸籍・年齢制限なし、 中級級資格が必要	2480(2080)	-	-
③ 健康照護 (病院介護 専門)		(60歳まで) 外地戸籍	1510(300)	座学10日、 復習2日	開講中、 3月と9月 (毎年6月と 12月試験)
		(50歳まで) 上海戸籍失 業者	1510(合格者に全額返 金)		
		(50歳まで) 上海戸籍在 職者	1510(1400、合格者に 1208元返金)		
		(60歳以上) 外地戸籍 者及び(50歳以上) 上 海戸籍者	1510(1200)		
④ 養 老 護 理 (介 護 専門)	初 級	(60歳まで) 外地戸籍	1780(300)	座学11日、 復習3日	開講中
		(50歳まで) 上海戸籍失 業者	1780(合格者に全額返 金)		
		(50歳まで) 上海戸籍在 職者	1780(1600、合格者に 1424元返金)		
		(60歳以上) 外地戸籍 者及び(50歳以上) 上 海戸籍者	1780(1400)		
	中 級	(60歳まで) 外地戸籍	1820(300)	座学11日、 復習3日	開講中
		(50歳まで) 上海戸籍失 業者	1820(合格者に全額返 金)		
		(50歳まで) 上海戸籍在 職者	1820(1620、合格者に 1456元返金)		
		(60歳以上) 外地戸籍 者及び(50歳以上) 上	1820(1400)		

	海戸籍者			
⑤初級養老 護理医療照 顧（介護・ 医療専門）	(60歳まで)外地戸籍	2710(350)	座学10日、 病院など 研修6日、 復習3日	開講中、 年4回試験あ り、試験3ヶ 月前開講
	(50歳まで)上海戸籍失 業者	2710(2710)		
	(50歳まで)上海戸籍在 職者	2710(2400)		
	(60歳以上)外地戸籍 者及び(50歳以上)上 海戸籍者	2710(2200)		
⑥家政専項 （家事専 門）	外地戸籍のみ	1420（100、合格者に 全額返金）	座学4日、 復習2日	開講中、 随時（各家政 サービス会 社へ講師派 遣）
⑦初級家政 等級技能 （家事技能 専門）	外地戸籍のみ	1790(100、合格者に全 額返金)	座学8日、 復習2日	開講中、 随時（各家政 サービス会 社へ講師派 遣）

（Rトレーニングセンター 2017年9月）

翻訳は筆者による。番号付け、順番を変えるなど加工を行った。

注1 外地戸籍者の全体の学歴が低いため、初級育嬰員資格を持つことが中級育嬰員の申請条件である。

（2）各トレーニングセンターの認定する「家政サービス員」養成

トレーニングセンターの認定する「家政サービス員」の養成は各トレーニングセンターの規模などによって異なる。Rトレーニングセンターの独自の認定「家政サービス員」は主に⑧高級母嬰護理（母子専門）、⑨催乳師の初級、高級、⑩小児マッサージ、⑪英会話（育児中心）などである（表3）。

表3 Rトレーニングセンターの認定する「家政サービス員」養成の分類、内容

名称	申請条件	料金(補助後金額)	コース内容	開講状況
⑧高級母嬰護理	年齢制限なし	1580(1180)	座学5日	開講中、 連続クラス
⑨催乳師	初級	年齢制限なし	3日間	開講中、 連続クラス
	高級	年齢制限なし	10日間	開講中

⑩小児マッサージ	年齢制限なし	1280(1080)	4日間	開講中
⑪英会話（育児中心）	年齢制限なし	1280（980）	7日間	開講中

（Rトレーニングセンター 2017年9月）

翻訳は筆者による。番号付け、順番を変えるなど加工を行った。

（3）その他の「家政サービス員」養成

その他の「家政サービス員」養成とは他の機構がトレーニングセンターの場所、講師などの資源を活用し、生徒を募集し、試験などを通して、資格を与えるものである。R トレーニングセンターでのこの類の養成は主にモンテッソーリ教育訓練機構による⑫モンテッソーリ早期教育訓練（初級と高級）である（表 4）。

表4 その他の「家政サービス員」養成の分類、内容

名称		申請条件	料金(補助後金額)	コース 内容	開講状況
⑫モンテッソーリ早期教育訓練	初級	年齢制限なし	1880（980）	－	開講中、 週末クラスと連続 クラス
	高級	年齢制限なし、 高卒以上	2380(1880)	－	開講中、 週末クラスと連続 クラス

（Rトレーニングセンター 2017年9月）

翻訳は筆者による。番号付け、順番を変えるなど加工を行った。

大橋は2000年に、労働・社会保障部が「家政サービス員」の資格検定を実施し始め、2006年に改訂を経ているが、一貫して、職を失った都市女性の再就業訓練の中で活用されてきたと指摘した（大橋 2011）。しかし、表2から表4の申請資格一覧を見てみると、申請資格を持つ者は都市部の女性のみならず、外地戸籍者もいることがわかった。また、長くトレーニングセンターに勤めている職員からも近年の受講者が殆ど外地戸籍者であることを筆者が聞いた。さらに、驚くことに、介護に関わる「家政サービス員」のトレーニングを受ける者の中に、少なからずの男性陣がいることである。これらの点から、「家政サービス員」国家職業基準のターゲットが都市の中年女性のみならず、外地戸籍者（男性も含む）にも向けられていることが明らかになった。

3 ケアに関わる「家政サービス員」の養成実態

前節では、「家政サービス員国家職業基準」に規定されている「家政サービス員」の養成要件、及び上海市の独自の「1+X」検定モデルの認定「家政サービス員」養成について触れた。ここでは特に、ケアに関わる「家政サービス員」の養成、つまり「母嬰護理員（母子専門）」、

「育嬰員（育児専門）」、「初級養老護理医療照顧員（介護・医療専門）」を取り上げ、その養成プロセスと養成内容を分析する。

3-1 「母嬰護理員」の養成プロセスと内容—H トレーニングセンター—

「母嬰護理」とは妊産婦及び新生児のケアを行う「家政サービス員」のことである。通称月嫂の「母嬰護理」の養成プロセスは大きく、養成訓練（必須）、試験（必須）、特別訓練（選択）、病院での研修（選択）に分けられる。「母嬰護理」養成訓練の必要時間は計 12 日（座学 9 日、座学復習 1 日、実技復習 2 日）である。

訓練内容は妊娠期ケア、分娩期ケア、産褥期ケア、哺乳期ケア、発達と早期教育、小児生活ケア、栄養と食事、新生児疾患、嬰兒疾患、事故防止・予防に分けられる。これらの内容はさらに座学と実技に分けることができる。トレーニングセンターでは、講師らは午前または午後を使い、教科書や手引きなどを用いて知識を生徒に教え、残りの半分の時間は実技を生徒に練習させている。

試験は 2 ヶ月に一回に行われるが、パソコンによる理論的な知識の試験と面接官らによる技術の試験という二種類の試験がある。二種類の試験とも合格すれば、生徒らは後日、上海市人力資源・社会保障局の発行する証明書をもたらえる。

上記の特別訓練とは「催乳師」及び「月子料理栄養士」訓練である。二つの訓練とも二日間をかけて行われ、それぞれ試験があり、合格すればトレーニングセンターもしくは月子料理会社の発行する合格証明書をもたらえる。催乳師は日本の助産師のように母乳マッサージを施術する専門家であり、月子料理栄養士は月子⁵中に産婦のために特別な月子栄養料理を作る専門家である。また、H トレーニングセンターでは、三日間の産婦人科病院での研修サービスも提供している。当病院では常勤のベテラン月嫂 8 名～10 名が昼勤務と夜勤交代で働いており、派遣された研修生を一人ずつ指導している。

以上述べた「母嬰護理」養成訓練、特別訓練、病院研修を経て無事に試験に合格したあと、多くの女性たちが H トレーニングセンターと連携する複数の仲介会社の派遣により病院や各家庭で雇用されている（図 1）。

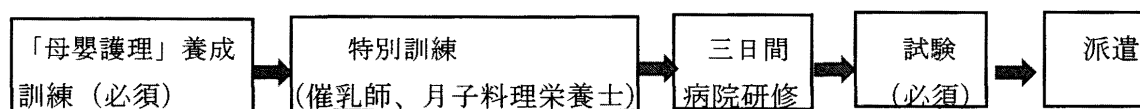


図 1 「母嬰護理員」の養成プロセス

3-2 「育嬰員」の養成プロセスと内容—R トレーニングセンター—

「育嬰員」とは「母嬰護理」の延長線上の乳幼児のケアを行う「家政サービス員」のことである。育児嫂とも呼ばれる「育嬰員」の養成プロセスは「母嬰護理」と比べると簡素であり、大きく養成訓練（座学と実技）と試験である。養成訓練の必要時間は計 12 日（座学 9 日、実技・復習 3 日）である。

「育嬰員（初級）」養成の内容は大きく①「育嬰員」の職業道德、②生活世話（飲食・栄養、睡眠・排泄、着衣、抱く、清潔）、③保健と医療（発育、予防接種、疾病の発見とケア、意外

傷害の予防)、④教育(生活スケジュール、動作と運動、言語・認知、感情と社会性)の4つに分けられる。「育嬰員(初級)」養成の形式と試験は「母嬰護理」とほぼ同様である(図2)。

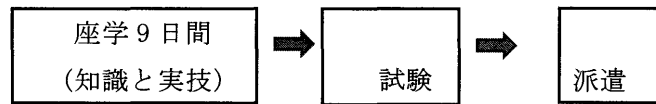


図2 「初級育嬰員(育児専門)」の養成プロセス

3-3 「初級養老護理医療照顾員(介護・医療専門)」の養成プロセスと内容—R トレーニングセンターを中心に—

「初級養老護理医療照顾員」とは、高齢者の日常的な世話、病気時の世話、及び心理的ケアを行う家政サービス員のことである。「初級養老護理医療照顾員」の養成プロセスは大きく、養成訓練(必須)、老人ホーム・病院での研修(必須)、試験(必須)に分けられる。

「初級養老護理医療照顾員」の必要時間は計19日間(座学10日間、病院など研修6日間と復習3日間)である。訓練の主な内容は、概論(介護保障制度、養老護理に関する制度、養老護理員の現状・傾向・問題)、基礎知識(医学、健康基準、介護)、高齢者の世話・介護の技術(消毒、居住環境整理整頓、身の世話、医療的な処置、移動・排泄技術)、リハビリと救命措置技術基礎である。これらの内容は座学と実技に分けることができる。訓練形式も「母嬰護理員」及び「育嬰員」と同じく、講義と実技の練習が半々である。試験は4ヵ月に一回だけ行われるが、試験形式は「母嬰護理員」と「育嬰員」と同じである。

「初級養老護理医療照顾員」の場合、病院(4日間)と老人ホーム(2日間)での研修は必須である。また、試験を受ける直前に3日間の復習も課されている。R トレーニングセンターが合格者らに関連老人ホームでの求人情報を提供しているが、より高い給料を求め、自ら仲介を通して仕事を探す人も多い。

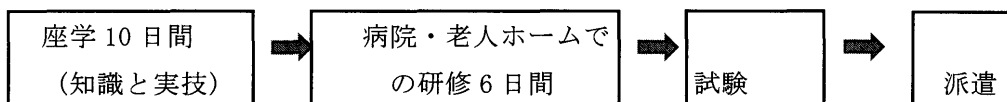


図3 「初級養老護理医療照顾員」の養成プロセス

以上、上海市における「母嬰護理」、「育嬰員」及び「初級養老護理医療照顾員」の養成プロセスと養成内容をまとめた。この三つの「家政サービス員」の共通点はどちらも資格化される前に、すでに存在していた点である。例えば、「母嬰護理」は80年代末から90年代初めにかけて中国の各都市で出現し、個々の女性が世話を必要とする親戚もしくは近隣の産婦宅で手伝いをしたことが「母嬰護理」の始まりと言われている。しかし、三つの「家政サービス員」が資格化された時期は異なる。「母嬰護理」、「育嬰員」の正式な教科書(中国労働社会保障出版社の発行したもの)を見てみると、いずれも2006年が初版であることがわかった。一方、「初級養老護理医療照顾員」の正式な教科書はなく、2017年現在の時点においては、各トレーニングセンターの自作のものが使用されている。また、「母嬰護理」、「育嬰員」及び「初級

「養老護理医療照顧員」の受講生を見てみると、「母嬰護理」、「育嬰員」の場合、女性がほとんどであるのに対して、「初級養老護理医療照顧員」の受講生は男性が目立つ。

4 「家政サービス員」の資格化の問題点

「家政サービス員」の資格化の問題点については、近年、人手不足とサービスの質の低さ、法律・規定の不備などを中心に指摘されている。以下では先行研究に基づき、これらの問題点について考察する。

4-1 人手不足とサービスの質の低さ

唐は「发展家政服务满足日益增长的社会需要」の中で家政の起源・発展を述べた上で、現在の中国における家政サービス業の問題点を指摘した。唐によれば、家政サービス業は政府の再就職政策と絡み合い、助成金などの手厚い補助制度があるものの、農村戸籍者らは必ずしも「家政サービス員」を目指すという訳ではない。そのため、都市部においては、需要が多く供給が少ない、いわゆる「保姆荒（「家政サービス員」不足）」の現象が起きている。「家政サービス員」の不人気について、唐は「都市部と農村部において、人々が『家政サービス員』を人に見下される昔の使用人と見なしているため」と分析した（唐 2005）。陳らは上海市の家政サービスにも同様な傾向が見られると指摘した（陳ら 2011）。

一方、家政サービスの質に着目してみると、殆どの雇用者が質の高い「家政サービス員」を求めているが、「家政サービス員」全体の学歴が低く、一部の「家政サービス員」が専門的知識や技能も持っておらず、雇用者とのコミュニケーションをとることもできないと李は述べる。また、李は「アンケート調査を通して、トレーニングを受け、資格を持つ『家政サービス員』がわずか6%であり、トレーニングを受けたが資格を持たない『家政サービス員』は26%であり、なんのトレーニングも受けていない『家政サービス員』は最も多く全体の68%に上っている」と指摘した（李 2008）。

4-2 法律・規定の不備

2008年、世界的な金融危機の影響で、中国東沿海部にある数万軒の工場が倒産となり、大量の農村戸籍者が失業に陥った。それを受け、中国の経済学者湯敏は家政サービス行が建築行の次の大きい業種となりうると指摘した。しかし、賀の指摘した通り、政府の関連部門は家政サービス業をそれほど重視しておらず、この業界における制約、法律が欠けている（賀 2014）。また、李は「家政サービス行は新しい産業であるため、関連法律や規定などまだ制定しておらず、サービス内容、規範、価格などの面においても適用できるものがない」、また「家政サービス行の発展に伴い、仲介会社が大量に誕生しているにもかかわらず、仲介会社に関する規則も欠けている」と指摘している（李 2008）。

上述のように、家政サービス業全体の法律・規定が十分に整備されていない。それに加えて、「家政サービス員」個人に適用できる法律もない。中国の「労働法」には労働契約の手続き、労働時間、給与、安全と衛生、女性と未成年労働者への特別保護、社会保険と福利など、「用人单位」の労働者に対する義務が盛り込まれているが、この法は個人あるいは世帯と労働者の

間の労使関係には及ばない。さらに、2008年には新しく「労働契約法」が施行された。この法規は派遣労働者に対して派遣会社との雇用関係を規定する、労働組合の権限を強化するといった内容を含んでおり、非正規就業者の権利保障の拡大をもたらすことが期待されている。しかし、これもまた、「用人单位」を企業や个体経済組織と捉えているため、家事労働者に対しては効力も持たない（大橋 2011）。そのため、家事労働者（月嫂を含む）は様々な不利益を被ることになっている。家事労働者は労働法に適用されないため「長時間の重労働に課せられ」、「人格も傷つけられる」恐れがあり、さらに「対人賠償責任保険と人身傷害補償保険も持たないため、万一事故が起きた場合でも保険金を支払うことも賠償してもらうこともできない」と王・呉が指摘している（王・呉 2009）。

上記の二つの問題点以外に、雇用者と「家政サービス員」との不平等な関係、両者の権利保障の欠如、「家政サービス員」の雇用の不安定なども挙げられている。

5 おわりに

本稿では、まず、中国における「家政サービス員国家職業基準」を確認した上で、HトレーニングセンターとRトレーニングセンターの情報に基づき、上海市の「家政サービス員」の種類と内容をまとめた。結果として、もともと「家政サービス員」の資格検定がリストラされた都市女性の再就業のために作られてきたが、近年になると、受講する者が主に外地戸籍者であることがわかった。上野は「再生産労働の国際分業」に着目し、「経済発展を遂げた国で女性の家庭外就労が進み、育児・介護が無償ではなされえないが、これらの家庭内労働は男女で均等に分配されてきたわけではなく、国によって女性を他国から低賃金で雇用し問題を解決することが明らかである。受け入れ国の少子高齢化、そして社会保障の制度の不徹底が賃金の安い海外からの家事労働者のニーズを作り、家庭内での家事やケア労働が、特定の国籍や民族の女性たちに委ねられるパターンが浸透している」とまとめている（上野 2017）。この指摘を中国の都市部と農村部に当てはめてみると、都市部における女性の就労、家庭内役割分担の不平等、そして、都市部における少子高齢化、中国の社会保障制度の不備などの理由で、地方出身者の「家政サービス員」のニーズを作り出し、都市部における家庭内での家事やケア労働が、地方出身者（男女を問わず）に委ねられつつあると言い換えられる。中国では都市と農村部における格差を縮めることを目標とした「和谐社会（矛盾のない調和のとれた社会）」というスローガンがある。しかし、「家政サービス員」の現状を見てみると、格差が縮むどころか、むしろ都市部における家族のケアの分業が進み、都市・農村間の格差がますます拡大しつつあるように見える。

次に、本稿は、ケアに関わる「家政サービス員」、つまり「母嬰護理員」、「育嬰員」、「初級養老護理医療照顧員」を取り上げ、その養成プロセスと養成内容を分析した。三つの「家政サービス員」の共通点もあるが、それぞれの資格化された時期は異なることがわかった。文頭にも言及した通り、中国では、昔から家族に子どもや老親の世話を任せる伝統があるが、今日、様々な理由により、家族の一員の代わりに「家政サービス員」がケアを担うようになってきている。このことは一見、家族のケアが外部化されているように見えるが、しかし、ケアを行う

主体は公的な部門ではなく、「家政サービス員」を取り入れる私的な家庭であることを考えると、家族に子どもや老親の世話を任せる体制は未だに変わっていないと言えよう⁶。

最後に、先行文献に基づき、「家政サービス員」の資格化の問題点を人手不足とサービスの質の低さ、法律・規定の不備などにまとめた。また、筆者がトレーニングセンターで受講者らとともに養成訓練を受けているうちに、「家政サービス員」の資格化と医療化（病院での研修、看護師養成の内容の多い教科書・手引き）が絡み合っているため、家庭におけるケアに相応しくないところが多々あることに気づいた。

本稿ではマクロレベルにおける「家政サービス員」の状況などを分析したが、「家政サービス員」になる人々の視点に立って、資格をどのように捉えているのかは今後の課題として残されている。

謝辞

本研究は JSPS 科研費 16H07036 の助成を受けたものである。

注：

1. 大橋は、「家政サービス」を下記のように定義している。狭義では家庭内で行われるとされる再生産労働、すなわち炊事、掃除や洗濯、ケア（保育や介護）などを報酬を得て代行するサービス、広義ではそのような仕事をするものの仲介・斡旋を含めたサービスのことである。また、大橋は家政サービスに従事する者は「家政サービス員」と呼ばれるが、この概念が普及する前に、保母（お手伝いさん）や「阿姨 ayi（ねえや）」といった語彙が存在してきたと指摘している（大橋 2011）。

2. 上野は著書『ケアの社会学』の中で、デイリーらによる下記のケアの定義を採用している。「依存的な存在である成人または子どもの身体的かつ情緒的な要求を、それが担われ、遂行される規範的・経済的・社会的枠組のもとにおいて、満たすことに関わる行為と関係」である。また、上野はこの定義を採用する効果には①社会的かつ歴史的な文脈依存性が書き込まれていること、②ケアするものとされるものとの間に相互作用があること、③この定義がジェンダー、階級、人種のような変数を取り入れ、その間の比較が可能であること、④成人と子どもを含むことで、介護、介助、看護、そして育児までの範囲を覆うこと、⑤身体と情緒の両方を含むことで、ケアの持つ世話と配慮の両面をカバーすること、⑥規範から実践まで含むことであるとまとめている（上野 2015）。上記の6つの理由は本稿の対象者である「家政サービス員」にも当てはまるため、執筆者は上野と同様に、デイリーらのケア概念を用いたい。

3. 本稿は主に R トレーニングセンターで収集したデータを使用する。R トレーニングセンターは区の教育局の許可を得て、様々な職業トレーニングを実施している施設である。近年生徒数が急増し、上海で最も有名なトレーニングセンターの一つに上り詰めた。また、本稿では 2013 年から 2014 年にかけての H トレーニングセンターでのデータも扱う。H トレーニングセンター

は1995年に設立され、上海市婦女連合会の提携企業であり、「家政サービス員」に関わるテレビドラマの撮影舞台にもなっているが、近年経営が悪化し、養成講座も生徒数が激減している。

4. 先進的な「1+X」検定モデルの家政サービス員基準及びその検定試験は国のものより厳しくレベルが上である。そのため、上海で資格を取れるなら、全国のどこに行っても通用する。つまり、上海での資格なのに、国家資格以上になるということである。また、中国の他の地域が上海の「1+X」検定モデルやその教科書などを参考にしている。

5. 姚によると、月子は、出産後ほぼ一ヶ月の間、産婦が起居飲食において守らなければならない一連の規範と禁忌のことで、中国で広く見られる一種の産育習俗である。この期間は、新生児に母乳を与える以外は何もせず、ひたすら食べて静養する。そうしなければならない理由は、ただ一つだけである。それはこの時期は病気になりやすい時期で、しかも病気にかかると、一生治らないという言い伝えがあるからである(姚 2009)。

6. しかし、「家政サービス員」は資格が必要な新職業であるため、彼らの給料は決して安いというわけではない。そのことは、自分の代わりに「家政サービス員」を雇えない都市部の女性も少なくないことを意味している。

参考文献

日本語文献

伊藤るり 2008「再生産労働の国際移転とジェンダー秩序の再編-香港の移住家事労働者導入政策を事例として」『国際移動と〈連鎖するジェンダー〉再生産領域のグローバル化』作品社

上野加代子 2017「シンガポールの外国人家事労働者」『子どもを産む・家族を作る人類学-オールターナティブへの誘い』勉誠出版

上野千鶴子 2015『ケアの社会学——当事者主権の福祉社会へ』太田出版

大橋史恵 2011『現代中国の移住家事労働者——農村-都市関係と再生産労働のジェンダー・ポリティクス』御茶の水書房

翁文静 2014「中国都市部における家政婦月嫂(SAO)の成立と発展—上海市を中心に—」国際教育文化研究 Vol. 14

張燕妹 2016「中国における高齢者の介護」『少子高齢化社会を生きる—「融異体」志向で社会が変わる』人間の科学新社

姚毅 2009「産後の養成坐月子—中国」『アジアの出産—リプロダクションから見る文化と社会』勉誠版

中国語文献

陈群民・李显波・王瑞杰 2011「加快上海家政服务业发展研究」『上海经济研究』2011年6月

贺景霖 2014「中国城市家政服务业发展面临的问题与对策」『湖北社会科学』

唐友华 2005「发展家政服务业满足日益增长的社会需求」『决策咨询通讯』2005年1月

赵树海·吴爱萍·王蕾 2010「我国家政服务业的现状及其发展对策」『红旗文稿』2010 年 9 月
李艳梅 2008「我国家政服务业的现状分析与规范化建设」『社会化学家』
王竹青·吴道霞 2009「论家政工的劳动权利」『妇女研究论丛』

参考 HP

家政服务员国家职业标准 <http://www.mamibang.com/dictionary/1204/>

上海仁济专修学院 <http://www.rjtc.org/Web/Contact.aspx>

Qualification of family care in Urban China: “Service Personnel of Housekeeping” in Shanghai

WenJing Weng

In China, it is traditionally a feminine role to take care of children and aged parents. Due to various reasons, however, it is more difficult to give a care for them in a single family setting in a present situation. Instead of family, “service personnel of housekeeping,” which is gradually qualified, is acquiring more attention in recent years.

In this paper, I first address “national professional standards” in China, then discuss the types and contents of “service personnel of housekeeping” in Shanghai. As a result, I discovered that: 1) qualification of “service personnel of housekeeping” is a “1+X” certification model, which is equivalent to national qualification, 2) “service personnel of housekeeping” is accredited by each training center, and 3) there are other consigned trainings.

Then, in this paper, I analyze the training of process and contents of “personnel of maternal and child care,” “child carer,” and “first level medical carer of the elderly,” which are “service personnel of housekeeping” for caring. I found that all of them are trained by both classroom lectures and technics, and “personnel of maternal and child care” and “first level medical carer of the elderly” have training at hospital.

Finally, through previous literature review, I discovered the problems of qualification of “service personnel of housekeeping” in the lack of manpower, low quality service, and unsound laws and regulations.